



に向けて…

人類が安定してこの世界に暮らし続けるために2030年までに達成すべき
具体的目標「SDGs」。銅業界がいま取り組んでいる「SDGs」を業界を
構成するフィールドごとに紹介したい。

〈日本伸銅協会会員企業によるSDGsへの取組み〉

日本伸銅協会では、SDGsについて、2021年度から勉強会や情報収集を行い、具体的活動内容について議論を深めてきたが、2022年末に、会員企業によるSDGsの取組みをとりまとめ、日本伸銅協会のHPに掲載した。
[<http://copper-brass.gr.jp/sdgs>] その内容について以下に紹介する。

日本伸銅協会が取組む 13の目標



スローガン

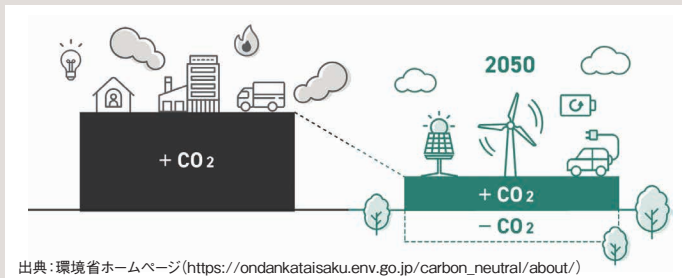
私たち日本伸銅協会会員企業は、これまで、くらしと産業を支える伸銅品の製造を通じて多くの社会環境問題の解決に寄与してきました。今後も社会から求められる伸銅品の製造を継続することで、より一層諸問題の解決に貢献するとともに、将来の世代にとってより豊かな社会となる環境を作るため、SDGsに取り組めます。



気候変動に向けた具体的取組み

2050年カーボンニュートラル*達成に向けて、カーボンニュートラル行動計画において、当協会として設定するCO₂削減目標を掲げ、その達成に向けて努力することを記載。

*カーボンニュートラルとは、二酸化炭素をはじめとする「排出量」から、植林、森林管理による「吸収量」を差し引いて合計を実質ゼロにすること。



出典：環境省ホームページ(https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/)



伸銅業における技術的取組み

これまで、会員各社が社会環境問題の解決に寄与する伸銅品の機能開発やその生産技術の開発に努力してきた内容について、伸銅品の種類で整理して記載。



SDGsの取組みに関連するQ&A

最近、得意先や顧客などからSDGsの取組みに関連した質問が寄せられることが多くなっているため、伸銅業に共通する代表的な質問内容とそれに対する回答例を記載。



会員各社の具体的取組み

会員各社の具体的な取組み内容を記載。

今後、掲載内容について、随時ブラッシュアップして充実させていく予定。
また、これから取組む会員企業に向けたセミナーを開催するなど、支援活動にも注力していく。